



## ① 秦川堂書店

NHKの番組「プラタモリ」にも登場し、「古地図といえここ」と知られるようになった「秦川堂書店」。明治40年(1907)の創業から「紙モノ」にこだわる老舗だ。古地図以外に絵葉書、古写真、ポスターなど「視覚的にその当時の様子が分かるもの」(店主)を豊富にそろえ、鉄道関係、産業史にも力を入れる。絵葉書や時刻表がレコード屋の棚のように並べられ、とても見やすい。江戸東京関連も充実。目録は年6回発行。「紙モノはだましもあるが、印刷された内容でなく、紙と絵具を見ると作成した時代がだいたい分かります」(同)

03-3264-2780  
千代田区神田神保町2-3 岩波書店アネックス2F



## ② 山形屋紙店

創業明治12年(1879)、宮内庁御用達の和紙の老舗「山形屋紙店」。神田の大火(大正2)、関東大震災(大正12)、東京空襲(昭和20)にも耐え抜いた蔵がある。店内には、使い道を想像するのが楽しい「紙好き」にはたまらない各種製品がずらり。日本各地のさまざまな和紙、書道・絵画用和紙、千代紙、便せん、葉書、ポチ袋など、昔ながらの手法で漉いた和紙から現代的な和紙まで幅広い。当店でしか手に入らないオリジナル商品も扱う。渋い外観とは対照的に、店内は色とりどりの和紙が並び、ふんわりとした華やかな雰囲気だ。

03-3221-7829  
千代田区神田神保町2-17



## ③ 澤口書店 東京古書店

音楽、美術、写真、映画、建築など芸術書を中心に取り揃える「澤口書店 東京古書店」。店内にはマッチラベルやポスターなどの紙ものも充実しており、見ているだけでも楽しい空間が広がっている。芸術書の他にも、世界史や洋書、クラシックやジャズのCD、DVDなど、取り扱い幅広い。2階には「くつろぎの空間」と呼ばれる喫茶スペースがあり、ドリンク片手に本に囲まれた空間でゆっくりと過ごすことができるので、休憩がてら立ち寄ってみては。

03-5577-6982  
千代田区神田神保町1-7 源興ビル1・2F



## ④ 呂古書房

平成5年開店の「呂古書房」は神保町で初めて女性店主が独立開業した豆本専門店。サイズは文庫本の半分以下で、当店には印刷博物館で作られた0.95角の本まである。装丁の美しいものから印刷技術を競うマイクロ印刷本まで種類はさまざま。「豆本は小さいからこそできる贅沢さがある。装丁に古布や和紙などの素材を生かし、文字も印刷し、製本も丁寧。お金と手間をかけた豆本は本としても一級品」(店主)。豆本のほか児童書、版画挿絵本、蔵書票など愛らしく美しいもので溢れる。特に店主が敬愛する武井武雄に関して扱いが広い。

03-3292-6500  
千代田区神田神保町1-1 倉田ビル4F



## ⑤ 崇文荘書店

洋古書の専門店。1階には哲学、経済など社会科学系の学術書。利用者の8割は研究者という。2階には初版本、限定本などの稀覯本・絵本など。装丁が美しい貴重本、重厚な革装本が並ぶ。17世紀から19世紀、20世紀初頭のものも多く、欧米の歴史ある古書店が図書館の中にもいるかのようで表の喧騒を忘れてしまう。なお店頭には数百円の絵本や1000円ほどのビジュアル書もある。絵本はイギリスやアメリカへ出かけて仕入れたものが中心。分野ごとに毎年美しいカタログを発行しており、探求書を登録すれば国内のみならず海外でも探してくれる。

03-3292-7877  
千代田区神田小川町3-3



## ⑥ ボヘミアンズギルド

「ボヘミアンズ・ギルド」は、大正9年に池袋に開業した夏目書房の支店で、平成16年に神保町に出店。店名の由来の通り、「慣習にとらわれない自由奔放な芸術家たちの作品」を集める。1階は洋書や写真集、美術書が中心。2階は絵画や稀覯本、自筆物などが並ぶ。特に竹久夢二のオリジナルは100点以上。商品はすべて手にとって見ることができる。「古本屋にこんなものがあるのかと驚かれるようなものを置きたいんです。柱は「心地よくて楽しい」。書店はアミューズメント要素がないとネット注文で完結してしまう」(店主)

03-3294-3300  
千代田区神田神保町1-1 木下ビル1F・2F



## ⑦ 東京堂書店

創業明治23年(1890)、「東京堂書店」は神保町古書店街の黎明期から営む老舗の1つ。文芸書・人文書をはじめ、豆本・地方出版物・リトルプレスまで充実した品ぞろえを誇る。「作家さんがふらっと訪れることもあり、ぱったり遭遇できるかも」(書店事業本部)。平成24年には「居心地のいい本屋」を目指し、「ブック&カフェ」としてリニューアルした。人気のカフェメニューは、野菜の甘みとスパイスの辛みが絶妙にマッチした「東京堂カレー」。「一口でふわっと味が変化するのがわかります」。(同)本と一緒にぜひカレーも。

03-3291-5181  
千代田区神田神保町1-17



## ⑧ 矢口書店

大正7年(1918)創業、昭和3年築の木造3階建て店舗は、古書店街・神田神保町の風景を堂々と特徴づける。「映画・演劇・シナリオ・戯曲」と書いた看板を掲げ、その専門分野で無類の商品量と品ぞろえを誇る古書の老舗、「矢口書店」だ。「新しいものが氾濫するこの時代、昔の写真が見たいと、古いものを選んで欲しい人が多い」と店主。映画・演劇関係者も数多く訪れる。『月刊シナリオ』『キネマ旬報』など雑誌の既売号も充実。映画ポスター、パンフレットも扱う。寄席演芸専門情報誌『東京かわら版』も販売。

03-3261-5708  
千代田区神田神保町2-5-1



## ⑨ 八木書店 古書部

創業は昭和9年(1934)、「八木書店 古書部」は上代から近現代までの日本文学を扱う。歴史的に極めて価値の高い本の影印本、近代文学の初版本や草稿、自筆物の充実が特徴だ。その一例、正倉院で千年以上保管されている文章を精密な写真と印刷、劣化の少ない中性紙で再現する「正倉院古文書影印集成」は研究者垂涎的。管理システムに先端技術の導入や、新刊書のバーゲンブック(特価本)など業界先駆けの取り組みでも知られる。年に2回、近代文学の魅力を深める特別講座を開催(参加無料)。目録は1月、10月の年2回発行。

03-3291-8221  
千代田区神田神保町1-1



## ⑩ 玉英堂書店

「玉英堂書店」は希少で優れた貴重な「稀覯本(きこうほん)」の専門店。明治35年(1902)に本郷湯島天神下で古本兼貸本業として開業し、大正15年、神田神保町に移転。そして「オリジナルだけが持ちうる筆跡、装丁、紙質により作家が生きた時代に近づきたい」(店主)との思いで昭和55年、2階に稀覯本と自筆物の「特選ルーム」を開設。室町後期の源氏物語絵巻、良寛の書、司馬遼太郎の肉筆原稿など、文学史・美術史で知る名前がひしめく、密度の濃い光景だ。観覧自由。目録は年3~4回発行。

03-3294-8044  
千代田区神田神保町1-1



## ⑪ 小宮山書店

昭和14年(1939)開業の古書店「小宮山書店」は、ファッション、サブカルチャーから文学、哲学、心理学、歴史、宗教まで6フロアに分けて展示販売。特にヴィンテージ写真集や写真家によるオリジナルプリント、現代アート作品、三島由紀夫関係が充実。取扱ジャンルが幅広く、「フロアごとに面白い棚づくりをしているので、『何時間でも見ていて楽しい』と好評です」(店主)。毎週末に開催するガレージセールは掘り出し物多数。年に1~2回オールカラーのカタログを発行。古本や絵画、プリントの買取も行。日曜・祝日も営業。

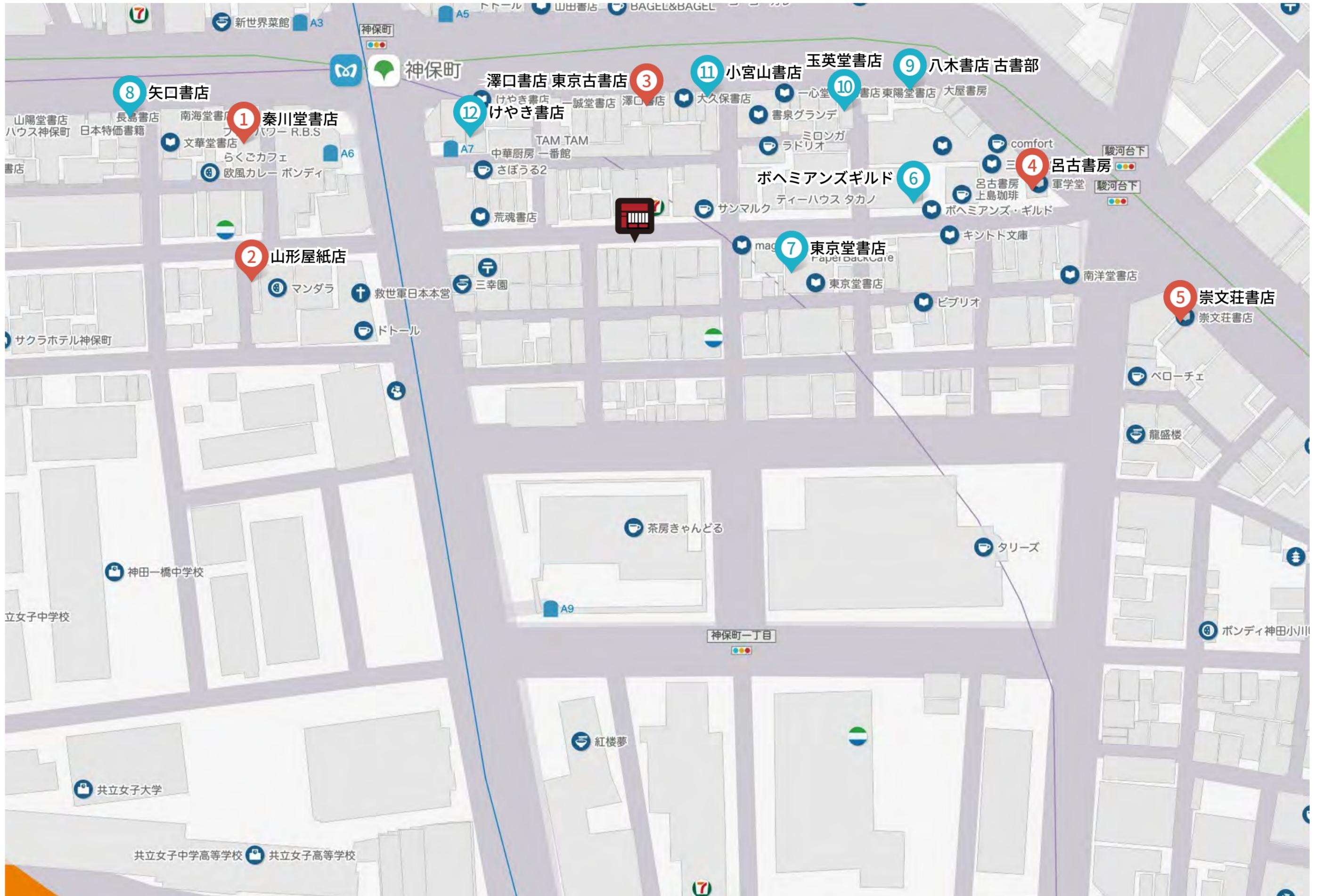
03-3291-0495  
千代田区神田神保町1-7



## ⑫ けやき書店

昭和62年(1987)開業の「けやき書店」は、「文学好きにはたまらない品ぞろえ」で一目おかれる。芥川・直木賞作家、明治~現代の初版本や限定本、直筆書簡類、初出雑誌を扱う近代文学の専門店だ。特に太宰治、坂口安吾ら無頼派の初版本が充実。現在、活躍中の作家はサインの有無がポイント。同店によると村上春樹、京極夏彦、宮部みゆき、高村薫の署名本は特に人気が高く、さらに別格が金原ひとみ、綿矢りさ。目録は年4回発行。「本の発送先は自宅宛で、目録は一刻も早く見たいから会社に送って、という人もいますよ」(店主)

03-3291-1479  
千代田区神田神保町1-9 ハヤオビル6F



8 矢口書店

1 秦川堂書店

2 山形屋紙店

3 東京古書店

12 けやき書店

11 小宮山書店

玉英堂書店

9 八木書店 古書部

4 呂古書房

ボヘミアンズギルド

6

7 東京堂書店

5 崇文荘書店

神保町一丁目